



2022年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月8日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス
 コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 欣弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 金子 章裕
 四半期報告書提出予定日 2021年7月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5524-8725

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	887	7.4	43		37		43	
2021年2月期第1四半期	826	35.3	143		142		130	

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 43百万円 (%) 2021年2月期第1四半期 129百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	1.63	
2021年2月期第1四半期	4.93	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第1四半期	4,844	4,277	88.3	162.05
2021年2月期	4,890	4,320	88.4	163.70

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 4,277百万円 2021年2月期 4,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		0.00	0.00
2022年2月期					
2022年2月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,780	17.8	105		121		97		3.70
通期	3,886	25.3	30		14		17		0.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期1Q	32,237,249 株	2021年2月期	32,237,249 株
期末自己株式数	2022年2月期1Q	5,844,059 株	2021年2月期	5,844,059 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期1Q	26,393,190 株	2021年2月期1Q	26,393,190 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響により依然として厳しい状況にあり、2021年4月には3度目の緊急事態宣言が発出され、ヒトやモノの動きが再度制限される等企業活動の停滞は継続し、先行き不透明な状態が続いております。

このような経済環境下、雇用情勢については、個人消費の低迷等の影響を受ける飲食業、サービス業の採用活動は下げ止まりの傾向は継続しており、当社の戦略地域である静岡県においては2021年5月の有効求人倍率が前年同月比0.03ポイント上昇の1.08倍となりましたが、雇用環境の全面回復には至っていない状況であります。

このような状況において当社グループでは、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けていない『ワガシャ de DOMO』の拡販施策やオプション商品の開発に注力いたしました。また、静岡県内では新型コロナウイルス対策を施し、2期ぶりにリアルイベントである合同企業面談会『シゴトフェア』を開催いたしました。コストについては求人紙媒体に係る直接コストの印刷費や流通費の圧縮、他経費の全面的な見直し等を継続しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は887百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。売上原価は297百万円（前年同四半期比9.3%減）、販売費及び一般管理費は633百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。前年同四半期と比較し増収となり、原価、販売費及び一般管理費等のコストは圧縮できたものの、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は当社が展開する人材マーケットではまだまだ解消されておらず、営業損失は43百万円（前年同四半期は営業損失143百万円）、経常損失は37百万円（前年同四半期は経常損失142百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は43百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失130百万円）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

(情報提供事業)

情報提供事業では、雇用環境が完全に回復しきれていない影響により求人広告メディアの売上は下げ止まりとなっているものの、採用管理システムを顧客に提供する『ワガシャ de DOMO』（サブスクリプション型課金モデル）の販売は計画通り拡大しており、売上高は726百万円（前年同四半期比9.5%増）、セグメント利益は113百万円（前年同四半期比217.5%増）となりました。

(販促支援事業)

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において、顧客の販売促進費圧縮等による取次量の減少傾向は継続しており、また、園児を抱える子育てファミリー層向けクーポン冊子においては当初の計画通りの発行はできたものの、イベント・レジャー関連企業の出稿減少により、販促支援事業における売上高は165百万円（前年同四半期比1.7%減）、セグメント利益は19百万円（前年同四半期比109.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が4,844百万円（前連結会計年度末比0.9%減）、負債が567百万円（前連結会計年度末比0.4%減）、純資産が4,277百万円（前連結会計年度末比1.0%減）となりました。また、自己資本比率は88.3%となりました。

資産の部では、流動資産が3,924百万円（前連結会計年度末比1.7%減）となりました。これは、現金及び預金が3,426百万円（前連結会計年度末比1.8%減）、売掛金が367百万円（前連結会計年度末比0.6%増）等となったためです。

固定資産は919百万円（前連結会計年度末比2.4%増）となりました。これは、有形固定資産が574百万円（前連結会計年度末比0.8%減）、無形固定資産が191百万円（前連結会計年度末比37.6%増）、投資その他の資産が154百万円（前連結会計年度末比14.6%減）となったためです。

負債は567百万円（前連結会計年度末比0.4%減）となりました。これは、未払金が333百万円（前連結会計年度末比8.1%減）、賞与引当金が46百万円（前連結会計年度末比46.5%減）等となったためです。

純資産は4,277百万円（前連結会計年度末比1.0%減）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が4,356百万円（前連結会計年度末比1.0%減）等となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期業績予想につきましては、2021年5月21日に公表いたしました業績予想を修正いたしません。
なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,488,367	3,426,637
売掛金	365,678	367,855
その他	138,250	130,759
貸倒引当金	△506	△606
流動資産合計	3,991,790	3,924,647
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	107,302	104,731
土地	444,475	444,475
その他(純額)	26,986	25,155
有形固定資産合計	578,764	574,361
無形固定資産		
ソフトウェア	128,291	180,553
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	138,898	191,159
投資その他の資産		
その他	181,400	154,493
貸倒引当金	△688	△244
投資その他の資産合計	180,711	154,249
固定資産合計	898,374	919,770
資産合計	4,890,164	4,844,417
負債の部		
流動負債		
未払金	362,416	333,116
賞与引当金	87,177	46,650
その他	104,151	172,622
流動負債合計	553,746	552,389
固定負債		
リース債務	15,718	14,756
固定負債合計	15,718	14,756
負債合計	569,465	567,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,249	540,249
利益剰余金	4,399,879	4,356,833
自己株式	△1,076,000	△1,076,000
株主資本合計	4,320,125	4,277,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,684	3,684
為替換算調整勘定	△3,110	△3,493
その他の包括利益累計額合計	573	190
純資産合計	4,320,699	4,277,270
負債純資産合計	4,890,164	4,844,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
売上高	826,553	887,656
売上原価	328,055	297,659
売上総利益	498,498	589,996
販売費及び一般管理費	642,157	633,351
営業損失(△)	△143,658	△43,355
営業外収益		
受取利息	36	13
受取賃貸料	210	210
為替差益	—	327
持分法による投資利益	233	3,135
その他	2,947	2,539
営業外収益合計	3,427	6,226
営業外費用		
違約金	101	171
その他	1,722	472
営業外費用合計	1,824	643
経常損失(△)	△142,055	△37,772
税金等調整前四半期純損失(△)	△142,055	△37,772
法人税、住民税及び事業税	408	687
法人税等調整額	△12,322	4,584
法人税等合計	△11,913	5,272
四半期純損失(△)	△130,141	△43,045
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△130,141	△43,045

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年3月1日 至2021年5月31日)
四半期純損失(△)	△130,141	△43,045
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	265	△382
その他の包括利益合計	265	△382
四半期包括利益	△129,876	△43,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△129,876	△43,428

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む影響が当社グループの業績に及ぼす仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	663,374	163,179	826,553	—	826,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,472	5,472	△5,472	—
計	663,374	168,652	832,026	△5,472	826,553
セグメント利益又は損失 (△)	35,869	9,453	45,323	△188,982	△143,658

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△188,982千円は、セグメント間取引消去1,119千円及び全社費用△190,102千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	726,259	161,397	887,656	—	887,656
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	4,406	4,406	△4,406	—
計	726,259	165,803	892,062	△4,406	887,656
セグメント利益又は損失 (△)	113,875	19,773	133,649	△177,004	△43,355

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△177,004千円は、セグメント間取引消去1,119千円及び全社費用△178,124千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。